

# 桂川海峡を クジラが 泳いでいた頃の ハナシ。

今でこそ日本の最高峰として日本人の心の拠り所となり、圧倒的な存在感を誇る富士山も、約五百万年前にはその勇姿の片りんさえ見ることができなかった。としたらどうでしょう。さらに、陸でさえなく海だったとしたら。

実際約七百万年くらい前は、東京湾から駿河湾まで太平洋の一部の海が侵入しており、桂川海峡が存在し、ウニやクジラ、サザエ等が生息していたことが発見された化石からわかっています。したがって都留市は深い海峡の底にあり、やがてフィリピン海プレートが南方から運んできた火山島の伊豆半島が現地点に押しつけられ、丹沢山塊や御坂山地が隆起し、富士火山周辺が陸になったのはつい最近の二、三百万年前以降になります。もちろんまだ人類は地球上に姿を現していません。



●700万年前の都留市周辺の様子  
※「山梨県周辺700万年前古地理図/1990年/田中収氏ほか」を参考に作成したものです。



●貝の化石  
桂川海峡に生息していた二枚貝で、山梨リニア実験線高川トンネル内より発見された月日貝（ツキヒガイ）化石。かつて海だったことを示す貴重な資料となっている。